



サバメシに大人も夢中!

サバメシは、アルミ缶2個、牛乳パック3個、サバイバルメシを炊く方法、製作には、講師の注意が大切です。子供たちも、真剣に話を聞いていました。お母さんたちは、子供たちの様子を見て、嬉しそうに話を聞いていました。お父さんたちは、子供たちの話を聞いて、真剣に話を聞いていました。お母さんたちは、子供たちの様子を見て、嬉しそうに話を聞いていました。お父さんたちは、子供たちの話を聞いて、真剣に話を聞いていました。

震災のお話

阪神大震災の経験者 井田さんに「あの日をわすれないはるかひまわり」という本の読み聞かせと、震災についてお話を聞いた。この本のひまわりの種は神原小にもあり、きれいな花を咲かせています。

液状化実験装置「エツキー」

地震で起こる液状化現象を実験できる装置です。防災科学技術研究所にご提供頂き、全員に1つずつプレゼント。

炊き出し

ひえばら会のトン汁とパワーズのカレーの炊き出し。カレーはサバメシで炊いたごはんにかけて、自分たちで持ってきた容器で受け取り、好きなところで夕食をとりました。



地域初の防災キャンプ開催される!

神原小学校には備蓄倉庫もなく、避難所として何も準備されていないのだ!

平成20年7月20日、21日の2日間、猛暑の中、神原小学校で親子防災キャンプ2008が開催された。参加者100名は、大地震が発生し建物などが崩壊したため避難所である小学校に避難してきたという設定で集合した。たくさんの荷物を持ってきた保護者たちはすでにバテバテ、2日間を無事過ごせたのか?...

百人余裕。二百人限度?

適正。三百人限度?

幻想的な光の中で 若手先生大活躍!

キャンプファイヤー

学校(教員)・後援会(地域)・保護者のコミュニケーション

今回の防災キャンプは、学校、教員、後援会、保護者のコミュニケーションが非常に重要でした。子供たちは、先生や保護者と一緒に楽しみました。先生たちは、子供たちの話を聞いて、真剣に話を聞いていました。保護者たちは、子供たちの様子を見て、嬉しそうに話を聞いていました。

当日は、子供たちが、先生や保護者と一緒に楽しみました。先生たちは、子供たちの話を聞いて、真剣に話を聞いていました。保護者たちは、子供たちの様子を見て、嬉しそうに話を聞いていました。子供たちは、先生や保護者と一緒に楽しみました。先生たちは、子供たちの話を聞いて、真剣に話を聞いていました。保護者たちは、子供たちの様子を見て、嬉しそうに話を聞いていました。

【事前アンケート結果】ご協力ありがとうございました!!

Q 地域の防災訓練に参加したことがありますか?
保護者も児童も参加(37人)、保護者のみ参加(23人)参加したことがない(116人)

Q 避難袋は用意していますか?
家族全員分用意(6人)、不十分だが用意(86人)用意していない(87人)

Q 避難所生活に必要なものは考えたり用意していますか?
用意してある(26人)、考えてはいたが用意してない(137人)考えてもない(14人)

Q 避難所の用意しておいて欲しいものは?
水(51人)、毛布・寝具(37人)、食料(35人)、トイレ・携帯トイレ(28人)、救急用品・薬(12人)、生理用品(8人)、テント(7人)、ティッシュ・トイレペーパー(7人)、ラジオ(6人)、ストーブ・カイロ・防寒具・扇風機(6人)、オムツ(4人)、その他(タオル・発電機・着替え・浄水器・耳栓・ダンボール・ハブラシ)

朝食配給

朝食は牛乳パックでホットドック。閉会式ではお待ちかねの「サバメシ」指導員認定証のほかにアルファ米、防災マップ、キャンドル台などのプレゼントをもらい終了!! お疲れ様でした!

被災にスピーク!

被災にスピーク! 被災にスピーク! 被災にスピーク!

(独) 防災科学技術研究所の技術員の内山庄一郎さんを講師に迎えた。本業の傍ら、アルミ缶と牛乳パックでご飯を炊くサバメシ(サバイバルメシ)を開発し、全国の防災イベント等で大活躍。内山さんがサバメシを指導した人は1万人以上。テレビにも多数と取り上げられている。